

事務事業名		参議院議員通常選挙の執行事務				☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業		
政策体系	政策名	018 自立した行政経営の確立				事業期間		予算科目		
	施策名	315 効率的で質の高い行政運営の促進						会計	款	項
	基本事業名	011 成果重視の行政運営の推進				☒ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入				
	根拠法令	公職選挙法								
所属	部課名	選挙管理委員会事務局				総投入量 (千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計 (A) 0 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計 (B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0				
	課長名	鈴木 昭浩								
	係 名	電話	0192-27-3111							
	担当者	大浦 公友	内線	192						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 参議院議員通常選挙の執行。 事前の準備、投票、開票に係る業務を行なう。 主な内容は以下のとおり ・選挙期日に基づく業務スケジュールの策定・管理 ・地区担当者説明会、併任書記・投票所庶務担当者・開票担当者の打合せ会開催 ・ポスター掲示場の設置 ・入場券・選挙公報の配布 ・期日前・不在者投票管理事務 ・当日の投・開票準備事務 ・当日の投・開票、開票結果の報告事務 事業費は、職員の時間外手当、消耗品費、投票管理者等の報酬等に支出される。										

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標										
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 25年度で完了(次回参院選は3年後)		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 説明会開催回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>イ 投票者数(岩手県選出)</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ウ 開票事務従事者数(岩手県選出)</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア 説明会開催回数	回	イ 投票者数(岩手県選出)	人	ウ 開票事務従事者数(岩手県選出)	人
		名称	単位							
		ア 説明会開催回数	回							
		イ 投票者数(岩手県選出)	人							
ウ 開票事務従事者数(岩手県選出)	人									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 岩手県選出議員候補者 比例代表選出議員候補者 市民(当日の有権者)	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カ 有権者数(選挙当日)</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>キ 立候補者数(岩手県選出)</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ク 開票所要時間(岩手県選出)</td> <td>時間</td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	カ 有権者数(選挙当日)	人	キ 立候補者数(岩手県選出)	人	ク 開票所要時間(岩手県選出)	時間	
名称	単位									
カ 有権者数(選挙当日)	人									
キ 立候補者数(岩手県選出)	人									
ク 開票所要時間(岩手県選出)	時間									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 正確な手続きで迅速に選挙が行われる 公明公正な選挙として有権者の納得を得る	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サ 正確さを欠いた事務手続き数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>シ 開票事務従事者一人当たりの処理人数/分</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ス 投票率(岩手県選出)</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	サ 正確さを欠いた事務手続き数	件	シ 開票事務従事者一人当たりの処理人数/分	人	ス 投票率(岩手県選出)	%	
名称	単位									
サ 正確さを欠いた事務手続き数	件									
シ 開票事務従事者一人当たりの処理人数/分	人									
ス 投票率(岩手県選出)	%									
④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか) 計画的で質の高い行政運営がなされている										

(2) 総事業費・指標等の推移			年度					
		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
投入量	事業費	国庫支出金	千 円					
		都道府県支出金	千 円		20,282			
		地方債	千 円					
		その他	千 円					
		一般財源	千 円					
	事業費計 (A)		千 円	0	0	20,282	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人		2			
		延べ業務時間	時 間		2,400			
		人件費計 (B)	千 円	0	0	9,600	0	0
	トータルコスト(A)+(B)		千 円	0	0	29,882	0	0
⑤活動指標		ア	回		6			
		イ	人		21331			
		ウ	人		65			
⑥対象指標		カ	人		32849			
		キ	人		5			
		ク	時間		1:27			
⑦成果指標		サ	件		0			
		シ	人		2.11			
		ス	%		64.94			

事務事業ID	1303	事務事業名	参議院議員通常選挙の執行事務
--------	------	-------	----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 国政施行による。	
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 平成22年参議院議員通常選挙の投票率は、64.83%であった。 これまで機会を捉えた数々の選挙啓発活動が図られ、期日前投票制度や不在者投票制度利用が浸透するなど、有権者に対する選挙での投票環境は整備されてきている。	
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特にはなし。	

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価		
目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒ 民主主義のもと、計画的で質の高い行政運営を目指して実施される選挙であり、政策と結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】⇒ 公職選挙法に基づく選挙であり、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】⇒ 公職選挙法に基づく選挙であり、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 電算導入による投票環境の向上や、開票事務の更なる時間短縮等に取り組む。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】⇒ 公職選挙法に基づく選挙であり、廃止、休止はできない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 投開票事務従事者の、適正な人員配置と事前研修による効率的な作業の実施。 ポスター掲示場設置場所の効果的な見直し。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 支所、出張所の期日前投票期間を見直した。 投・開票事務従事者数を見直した。 当日投票システムを導入し受付人員を減員した。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 公職選挙法に基づく選挙であり、公平・公正に実施できている。

事務事業ID	1303	事務事業名	参議院議員通常選挙の執行事務
--------	------	-------	----------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	当日投票の受付における入場券のバーコード処理システムを導入し、投票所に従事する職員を減員した。																						
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																					
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 適切、正確な事務執行のため、職員研修と課題把握に努める。		左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 庶務担当者に対する研修の実施、開票作業のシミュレーションやマニュアルの作成																							

4 事務事業の2次評価結果

(職 名) ※原則として施策の主管課長	(氏 名)
2次評価者	選挙管理委員会事務局長 鈴木昭浩

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

- ① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)
- ☐ 記述不足でわかりにくい
☐ 一部記述不足のところがある
☒ 記述は十分なされている
- ② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)
- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
☐ 一部に客観性を欠いたところがある
☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果		(3) 評価結果の根拠と理由																					
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	平成20年度の市議選から、期日前投票の受付における入場券のバーコード処理システムを導入しており、25年度は参議院議員通常選挙から選挙当日の投票所での受付に導入し、従事する職員の減員が図られ経費の節減となっている。 今後も、新たな電算機器の導入と併せ、投・開票事務における、適正な人員配置と効率的な事務執行を引き続き推進する必要がある。																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(5) 改革・改善による期待成果																					
☐ 廃止 ☐ 休止 ☒ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 投・開票事務の人員削減、開票事務の迅速化のためには電算化の推進が必要であり、今後も費用対効果を明確にした上で、計画的に電算化の導入について検討していく。		左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	●	○		維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上	●	○																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
